

# 可部駅西口広場交通結節点改善事業について

## 事業の目的

JR可部駅は、約6千人/日（約100便）の乗降客が利用する広島市北部の主要駅です。一方、駅周辺の路線バス等は約1500人/日（約700便）の乗降利用となっています。

JR可部線は平成15年11月30日に可部駅以北が廃線となり、バスの乗り換え需要が高まる中、西口の駅前広場が未整備で、バス停留所は平均260mと離れるなど、鉄道との乗継が不便な状況となっています。

このため、中国地方整備局と広島市が連携し、平成15年より国道と駅前広場の一体的整備を行い、平成19年12月に完成します。

このことにより、公共交通の結節機能の改善を図るとともに、国道54号の交通の円滑化を図ることで都市機能の充実と地域の活性化が期待されます。また、整備にあたってはユニバーサルデザインに配慮しています。

※便数、利用者は平成18年7月13日調査による

## 可部駅西口の課題と整備効果

### 課題1

#### 整備前の可部駅利用状況



- ・上下線ともにバス停⇄可部駅西口が離れているために、乗継距離が長くなっています。
- ・下りバス停⇄可部駅西口は国道を横断する必要があります。

### 課題2

#### 整備前の可部駅前(R54)バス停状況



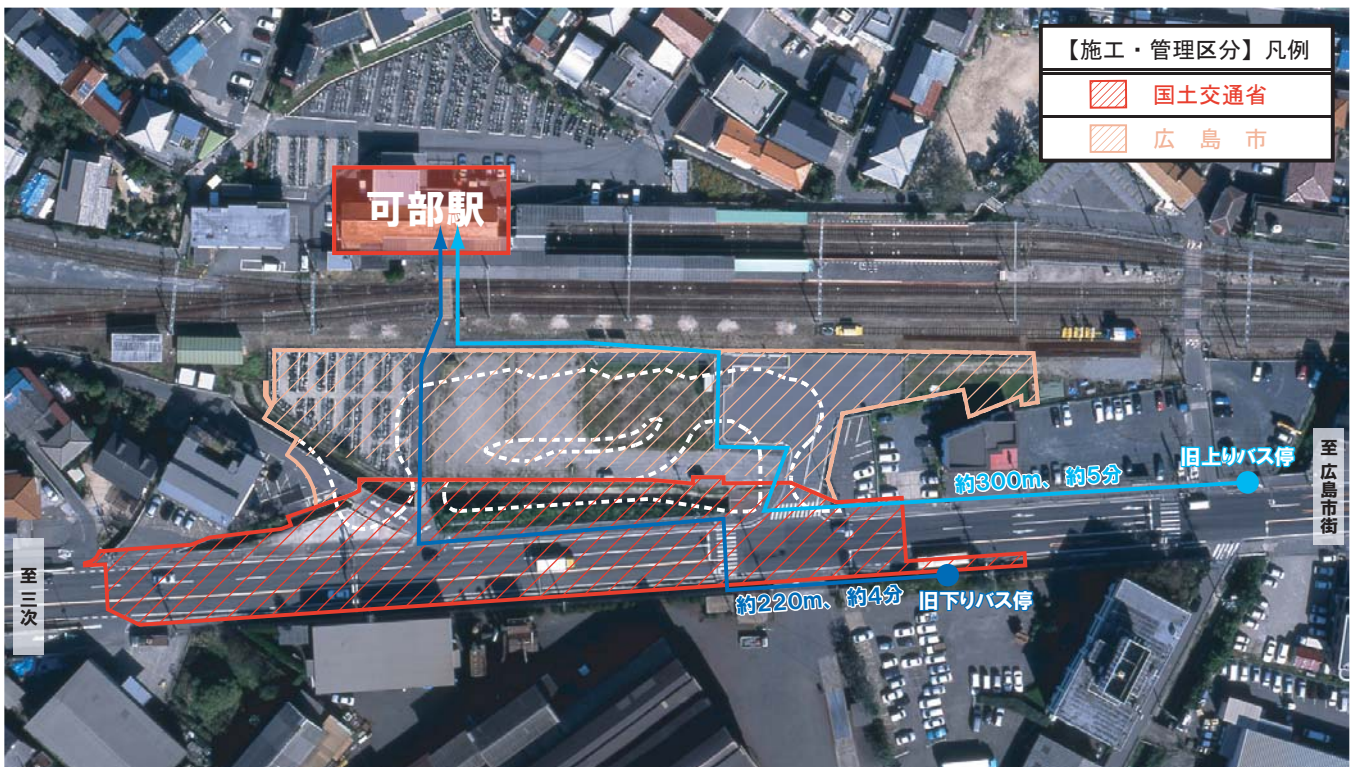
- ・バス駐車場が狭いため、停車したバスが車線を塞いでいます。

### 課題3

#### 整備前の架空線状況



- ・多くの電柱、電線が駅前に設置されています。



# “駅前広場・バス停整備”で期待される効果

## ★交通結節機能の改善

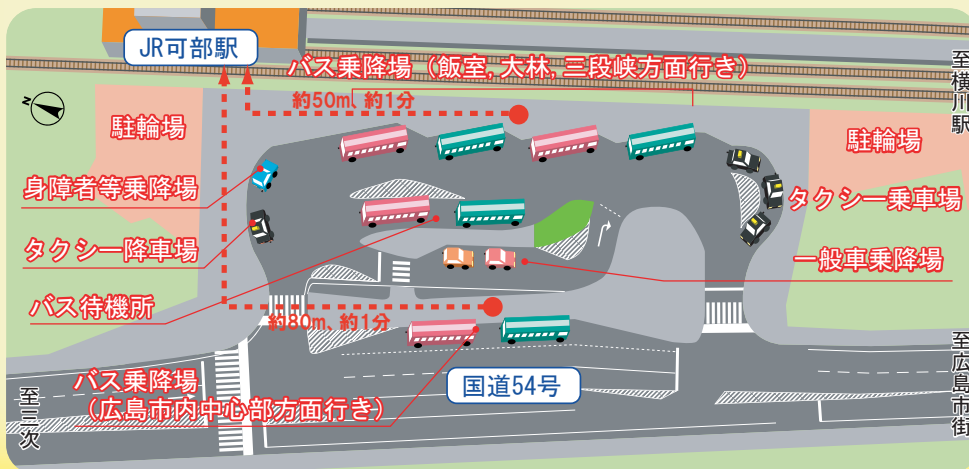
- ・バス乗降場の整備により、鉄道とバス等の乗り継ぎ利便性・安全性が向上します。
- ・乗継距離の短縮 鉄道⇔バス（整備前：平均 260m→整備後：平均 60m） **約200m短縮（約3分短縮）**
- ・国道 54 号を横断する事無く鉄道とバスの乗継が行えます。
- ・バス停には上屋、ベンチが設置されバス待ちが楽になります。

## ★交通の円滑化

- ・バス乗降場を駅前広場内に設置し、国道 54 号の交通と分離することにより、国道 54 号の交通がスムーズになり、交通事故の低減が期待されます。
- ・新たに右折レーンを設置し、駅前広場へ安心して車で乗入れが行えます。

## ★電線類の地中化

- ・駅前広場・バス停整備に合わせ電線類を地中化することにより、地震や台風などの災害に強い交通結節点となり、景観が向上します。



◆ 事業概要 ◆	
◆ 駅前広場面積	3,600㎡
◆ 右折専用車線	1車線
◆ バス乗降場	6箇所
◆ タクシー乗降場	2箇所
◆ 一般送迎用乗降場	1箇所
◆ 身障者用乗降場	1箇所

## 駅前広場・バス停整備の完成イメージ

